

猪野瀬地区 市長と語る会 議事要旨

日 時	令和6年5月22日（水）午後7時00分～午後8時45分
場 所	猪野瀬こうみん館
出席者	31名

Q：質問 A：回答

1. 左義長まつりについて

Q：左義長まつりについて、当日お客様からトイレが少なすぎるという声があった。日曜日は雨天だったので、休憩所のテントがあると良いという声を多数聞いた。

A：市としても左義長まつりを1年間で最も大切なイベントと位置付けているので、トイレや休憩所について考えていきたい。

2. 取立山のトイレについて

Q：先日取立山に行ったが、東山キャンプ場のトイレが使えないので、特に女性の登山客が困っているようだった。トイレの整備は必要だと思った。

A：東山キャンプ場のトイレについては、北谷地区の市長と語る会でも意見があった。以前のような山小屋のトイレは管理が大変なので、トイレカーのようなものを活用できたらと思っている。災害時のトイレ問題について議論する中でトイレカーの提案もあったので、今後検討させてほしい。

3. 道の駅隣接地について

Q：道の駅の隣接地は今後どのようなコンセプトでやっていくのか。

A：道の駅とイチゴハウスの間に若猪野の青果市場を移転する準備を進めている。そこで物販や簡単な飲食スペースができるよう進めている。昨年2つの飲食店がオープンしたが、それより上の土地は活用について現在交渉しているところである。令和8年春の中部縦貫道の全線開通を一つの目標にしながら事業者の誘致活動も続けていく。

4. 広報紙における市議会日程の掲載について

Q：3年半ほど言い続けているが、広報に市議会の日程の掲載をお願いしたい。一昨年の市長と語る会でも言ったが、なぜ掲載できないのか教えてほしい。

A：定例会の日程は、広報にQRコードを掲載し、読みとって見れるようにしている。議会の予定が動く可能性がありそのように対応している。

5. ロープウェイの建設について

Q：勝山にロープウェイを作るという夢のある提案をしたい。雁ヶ原から村岡山を通過して恐竜博物館をつなげると白山も見え良いと思う。

A：ロープウェイについては良いアイデアだと思う。ただ、市の事業としてやるのは考えにくい。雁ヶ原の活用については、事業者と交渉している。道の駅等も含めて現在いろんな事業者と並行して交渉をしているので、お待ちいただきたい。

6. 市職員の対応について

Q：市の職員の対応が丁寧で助かっている。職員が熱意と夢を持って仕事ができるよう市長の力添えをお願いしたい。

A：こういったことを公の場で言うてくださることがありがたい。職員にも伝えたい。

7. まちづくり会館職員の役割について

Q：今年の2月に、地区の常会で公民館長がプラスチック資源ごみ回収について説明されたことに違和感を感じた。公民館の職員は社会教育に一番力を入れる必要があると思う。今後防災の拠点になることもあり、どんどん負担が大きくなるのではと心配している。

A：市としては公民館を社会教育の拠点としては考えていない。一昨年、教育委員会が所管していた公民館を総務課へ移した。その際に社会教育的な仕事は未来創造課に移している。まちづくり会館の職員には、地域の課題解決や地域防災、地域福祉といった機能を果たしてくれることを期待している。2月のプラスチック資源ごみの説明については、地域と一番コミュニケーションの取れている館長さんに入っていたというのは、私の期待に合ったものだと思っている。もちろん市民課の職員も同席するべきだと思ったので、それについては指示したい。

8. 幼児教育について

Q：人口減少への対策が重要だと思った。勝山に愛着を持ち、残ってもらうには、小さい時からいろんな世代や関係の人と関われる機会を持てるような環境が必要だと考える。そして、勝山に誇りをもって夢を託せるような子どもを育てていかないといけないと思う。保育料の無償化もありがたいが、こういった幼児教育を受けさせられる環境を求める人もいる。

A：現在、市立保育園を廃止し、幼稚園も2年後に廃止する予定である。しかし市内には9園のこども園・保育園があり、就学前教育をどのようにするのか、こども課と話を進めている。その一つとして、令和8年度を目安に、教育会館を就学前から高校生までの子どもたちが集えるような場所にしたいと考えている。

9. 地域での防災について (1)

Q：1月1日の地震を受け、区長として地元で何ができるか危機感を持っている。3月に教育会館で市が主催の防災研修があったが、その中で、各地区で防災計画を作るべきだという話があった。市として、各地区に対しどういったアプローチを考えているのか伺いたい。

A：大雨や大雪の対応とは違い、地震災害では長期間避難所で生活することを想定する必要がある。それには、まず備蓄食料を3倍以上にすることを、年次計画で予定している。また、地域防災としては、まちづくり会館が地域の防災機能の拠点とするために設備を整えたいと思っている。災害時にはここを中心に、館長や市の担当職員、地区に住む職員が集まり、地域の皆さんの安全安心を確保する体制をとりたいと考えている。そのために、各区長や地域防災組織、民生委員の方々と連携が必要だと思っている。

10. 雇用の場創設の面での人口対策について

Q：北谷には一時3,000人が住んでいたのは、山を中心とした仕事があったからである。働く場が人を定着させるのだと思う。そのために、市内の企業の発展を支援すること、企業誘致、創業支援が重要だと思う。勝山に残る子どもを増やすために、子どもをまちづくりに参画させることも重要だと思う。鯖江市の取り組みを参考に、勝山の子どもたちも実際に勝山の将来を考える機会を作ることが出来たら良い。

A：企業の発展、企業誘致はもちろん重要だが、人材確保ができなことが大きな課題になっている。人材不足が深刻な状況で企業誘致に踏み切った時に、既存企業への影響が懸念される。希望する仕事に就けるのは一部しかない。そういう意味では起業支援は有効だと思っている。それについては商工会議所と一緒にやっていきたい。

11. 結婚支援について

Q：昔は結婚するのに世話を焼く人がいたり、青年団や職場をきっかけに良い方向に行くことが多かった。人が集まる場が増えるといいと思う。

A：結婚対策についてはおっしゃる通りだと思う。他人が人の結婚のことについて働きかけることがしにくい社会になった。マッチングアプリなども模索しているが、皆で考えて世話を焼くような、地域社会の温かさで地域コミュニティの活力の維持ができればいいと思っている。

12. 市内のキャンプ場について

Q：東山キャンプ場が休止しており、勝山の自然を体験できるキャンプ場が他にないのが寂しい。子どもが自然の中で過ごせる場所を考えてほしい。

A：キャンプ場については、岩屋キャンプ場が友安製作所という会社により運営されており、人が常駐しているわけではないが楽しめるようになってきている。一度行ってみたい。東山キャンプ場については、オープン予定だったが、能登半島地震の影響で事業者の都合により延期となっている。他にも、色々進めているが、東山キャンプ場は何らかの形で再開できるよう頑張りたい。

13. 東山のビニールハウスについて

Q：東山にイチゴのビニールハウスがあったが、潰れたままになっておりみっともない。あの辺もいい形で進めてほしい。

A：東山のいちごハウスは雪でつぶれてしまった。あのハウスは夏いちごを生産するということで国の補助で設備したが、コロナ禍で事業者が継続できなくなった。再開の目途が立っていないが、最低限撤去について話をしたいと思う。

14. 若猪野の市場について

Q：若猪野の市場が道の駅の方へ移転する。この市場も昔に比べて出荷する家庭が少なくなった。スーパーがきれいな野菜を売るので、形の悪い野菜が売れなくなった。また高齢化により市場の維持も難しくなってきた。にこにこ交付金はありがたくて、少しでも地域コミュニティのために使っていきたいと思っている。他にもどういった支援があるか教えてほしい。

A：高齢化率が上がることによって、集落での共同作業やお祭りなどもできなくなるという状況が起きている。コンパクトシティ的な考え方もあるが、市としては最小単位の区をできるだけ支援していきたいと思っている。にこにこ交付金の他、区民会館の改修や林道維持など取り組んでいるが、地域により実情が違うので苦労している。米の収益化についても課題として取り組んでいる。若猪野の市場については、市や観光の収益で維持しながら、少しでも多くの方に出荷いただきたいと思っている。

15. 「発明」を観点とした取組みについて

Q：子どもから高齢者まで関われる試みとして「発明」に取り組んではどうか。弁理士の資格を持っている方を地域おこし協力隊で募集して、発明という観点から勝山市が稼ぐにはどうしたら良いか考えてもらったり、勝山発明大賞を作っても良い。誰でも考えて楽しくもの作りしたり、前向きな活動ができると思う。

A：福井県にも発明協会というものがあり、私の友人が以前いたこともある。弁理士の方も市内にいますので一度話を聞いてみたい。（質問者の方に）改めてお話を伺いに行く。

16. 地域での防災について (2)

Q：地区社協の仕事をしている。毎年災害が起きて不安に思っている。避難所でどのように運営できるのか分からない。地域の企業や病院関係者にも意見を聞きながら組織作りをしていかないといけないと感じている。行政に頼りきりではなく、地域全体で考えていきたい。

A：まち館職員や総務課職員、地域担当職員そして地区社協のコーディネーターの方と一緒に、まちづくり会館の災害時の機能を強化していきたいと思う。それには役割分担や様々なケースでのシミュレーションをしていかななくてはならない。再度コーディネーターの方々も含めた地域の拠点の在り方について検討したいと思う。一緒に考えていきたいのでよろしくお願ひしたい。